

桂小学校における登校に不安や悩みがある児童・保護者への支援について

(令和6年7月24日 桂小学校長)

- 1 登校することに不安や悩みがある児童に寄り添い、また、保護者の皆様と協力し、教育相談や学びの継続、校内の居場所づくりに努めるとともに、学校以外の学びの場とも連携し、支援を行います。
- 2 児童が登校に不安や悩みを感じている場合は、教員（学級担任に限りません）のほか、養護教諭（不登校支援コーディネーター）、児童支援担当教員、副教務（生徒指導主任）、教務主任、教頭、校長、スクールカウンセラー、さわやか相談員などが児童及び保護者の相談支援を行います。まなびポケットや連絡帳、お手紙でも構いません。御希望に応じて、お話のしやすい場所や時間、学校の出席者を調整します。
- 3 相談について、次のような準備をしています。
 - ◆学校で行う児童との教育相談：桂小学校では、教員（学級担任）と児童との教育相談を「ふれあいウィーク」と称し、6月から7月にかけて実施しています。それ以外の日でも相談することができますので、いつでもご相談ください。
 - ◆スクールカウンセラー：毎週水曜日に来ています。相談時間の予約が必要です。予約は直接御連絡（375-2372）いただくことも、学級担任または養護教諭へ御連絡いただくこともできます。学校（375-2357）へ御連絡いただいても構いません。
 - ◆さわやか相談員：教員や専門職とは異なる立場で、児童のお話を聞きます。
 - ◆教職員の研修：不安や悩みを抱える児童の理解や相談能力の向上を図っています。また、学校で行うことができる支援策や学校以外の場での支援内容などの情報をいつでも提供できるよう備えています。
 - ◆教職員間の情報共有：児童が抱える不安や悩みの状況に関係する教職員の間で共有し、的確な支援が行えるようにしています。
- 4 支援について、次のような準備をしています。
 - ◆在籍学級以外にも居場所があります。教室に入りにくさを感じている場合の居場所として、保健室や職員室、さわやかルーム等の別室を用意しています。児童や保護者と相談しながら、状況に応じて使い分けていきます。
- 5 児童が安心して学ぶことができるように、学校外施設とも連携しながら、支援を行います。主な学校外施設は「仙台市教育支援センター」のWebページにまとめてあります。教育支援センターのアドレスは以下のとおりです。
(「教育支援センター」 <https://sites.google.com/g.sendai-c.ed.jp/jiyu>)

桂小学校では、「不登校というだけで問題行動であると受け取られないよう配慮すること」を前提に、全校児童に「社会的な自立に向けた支援」を実施するに当たって、全ての児童に学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整えることを目指し、上記の内容に取り組みます。

御相談は、桂小学校職員室（375-2357）までお願いします。